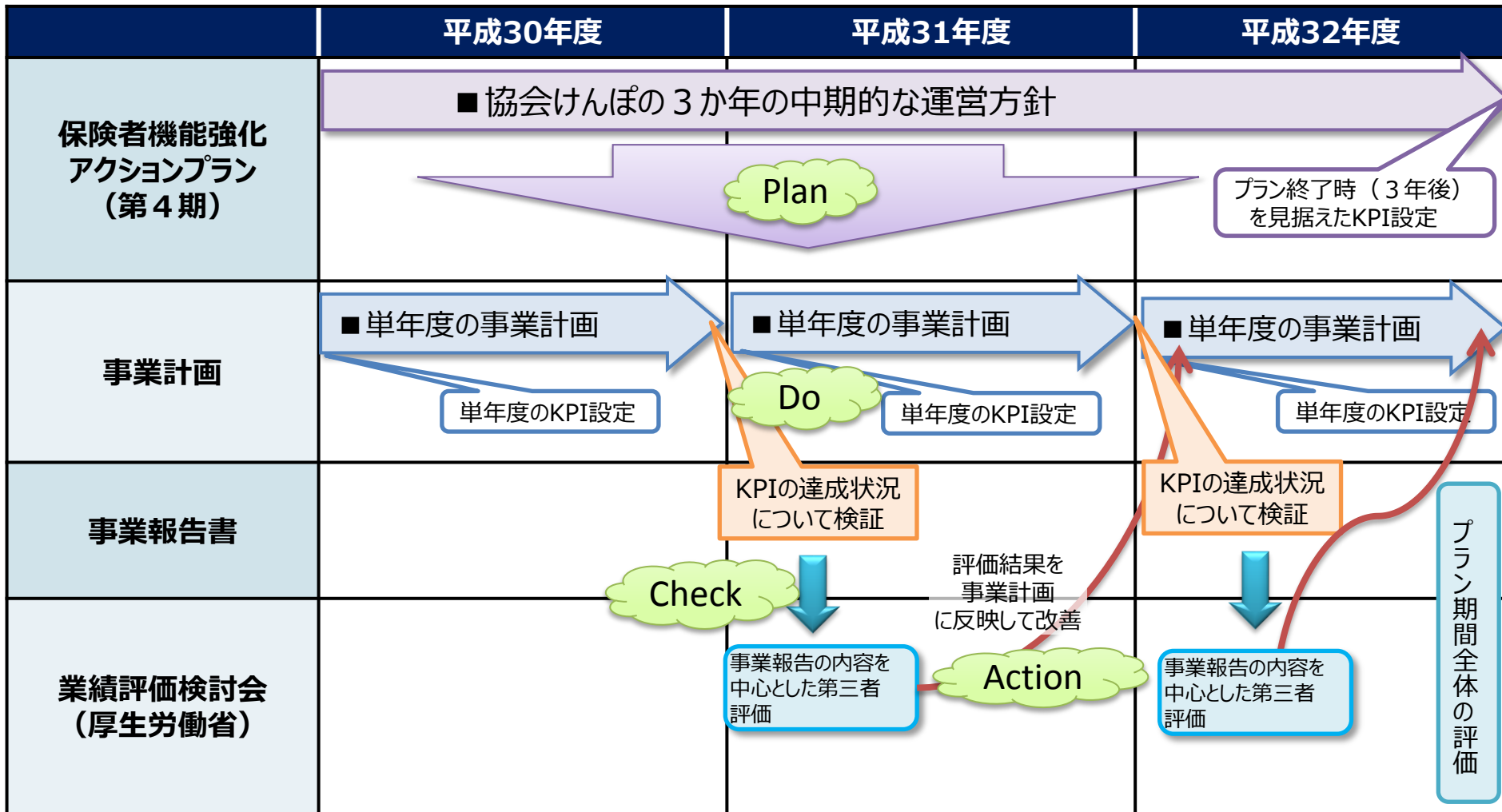


# 平成31年度長野支部事業計画骨子(案)

# (1) 事業計画の考え方

- 協会けんぽでは、平成29年度以前も保険者機能強化アクションプランや事業計画に基づく事業運営を行い、その評価を次のアクションプランや事業計画に反映させてきたが、必ずしもそうした関係性が明らかになっていなかった。
- このため、平成30年度以降は以下のとおり、保険者機能強化アクションプランを中期計画と明確に位置付けてKPIを設定するとともに、それを踏まえた事業計画の策定や評価を通じた改善を行うことにより、PDCAサイクルの強化を図っている。



## (2) 平成30年度事業計画

### 平成30年度の基本方針

(1)	<b>基盤的保険者機能関係</b>
①	現金給付等の業務の「標準化」「簡素化」「効率化」の徹底
②	日々の業務量の多寡や優先度に応じて柔軟な業務処理体制を構築し、生産性の向上
(2)	<b>戦略的保険者機能関係</b>
①	地域医療構想調整会議等において客観的データに基づく効果的な意見発信
②	保険者機能強化アクションプラン及びデータヘルス計画に基づく取組の着実な推進
(3)	<b>組織体制</b>
①	標準人員に基づき人的資源の最適配分
②	OJTを軸に効果的な研修の組み合わせによる人材育成により組織基盤の底上げ

KPI項目	目標	実績	KPI項目	目標	実績
レセプト点検定率	0.360%	※1)0.334%	被扶養者特保実施率	9.7%	※3)6.8%
資格喪失後受診返納金割合	0.047%	※2)0.030%	受診勧奨後3か月以内受診率	11.1%	※1)10.3%
オンライン資格確認USB利用	36.5%	※1)6.9%	広報活動加入者理解率	—	—
喪失後1か月以内保険証回収	96.00%	※1)93.63%	健康保険委員カバー率	50%	50.48%
生活習慣病予防健診受診率	52.5%	※3)21.9%	ジェネリック医薬品使用割合	77.4%	※4)78.6%
事業者健診データ取得	14.0%	※3)2.0%	地域医療構想会議参加率	100%	100%
特定健診受診率	33.0%	※3)12.5%	効果的な意見発信	—	—
被保険者特保実施率	27.0%	※3)8.1%	一般競争入札の一者応札	25%以下	該当なし

※1)30年8月時点確定値 ※2)30年7月時点確定値 ※3)30年9月末時点での推計値 ※4)30年5月診療分確定値

### (3)平成30年上期終了時での課題

#### 【基盤的保険者機能】

適正な現金給付	マニュアルに沿った審査の徹底と疑義案件に対する厳格な対応
レセプト業務	点検の効率化による高額レセプト点検の推進と他支部事例の収集等による新たな視点による審査
柔整・あはき療養費	多部位頻回施術者、受療者への継続的な照会と重点審査項目の設定による審査強化
債権回収	保険証回収の強化(特に任継取消者)と年金調整者を含む着実な回収促進
サービス向上	加入者の利便性向上のための限度額適用認定証利用拡大、CS向上への取り組み継続

#### 【戦略的保険者機能】

被保険者健診受診率向上	事業所規模等を勘案した優先度による個別勧奨、重点業種における各種団体等を通じた勧奨
被扶養者健診受診率向上	GIS等を活用した集団健診受診率向上、未受診者対策の簡易血液検査の実施とフォロー
被保険者特保実施率向上	健診当日の特保委託先の拡大、自治体非正規職員及び医療業等で保健従事者のいる事業所への委託推進
被扶養者特保実施率向上	独自集団健診時の初回面談分割実施の委託先拡大、国保との一括特保推進のための自治体への委託
コラボヘルス	健康保険委員カバー率向上と重点業態の「健康づくりチャレンジ宣言」事業所拡大、健康度向上のための運動・食事習慣の定着
ジェネリック医薬品使用促進	地域別・年齢別の使用割合格差、医療機関に対する個別推進要請
データに基づいた意見発信	本部提供ツールの活用と分析スキル向上

#### 【組織体制】

新事務体制	個別職員の目標設定と進捗管理
コンプライアンス等遵守	コンプライアンス等を遵守する組織風土の確立、事務処理誤りの防止
経費の適正使用	スケジュールに沿った調達管理、光熱費、消耗品費の適正管理

## (4)平成31年度運営方針

運営方針	
1	現金給付の適正化の推進と効果的なレセプト点検の推進
2	増大傾向にある債権の回収促進
3	サービス水準の維持向上
4	加入者の健康度向上のための保健事業推進(データヘルス計画の着実な実行/インセンティブ制度、健康経営等と連動したコラボヘルスの推進)
5	エビデンスに基づく地域医療への働きかけ
6	役割等級に応じた業務遂行能力の発揮と常に学ぶ風土の定着
7	コンプライアンス、情報セキュリティ、個人情報保護等リスク管理の徹底
8	コスト意識の醸成

I.医療等の質や効率性の向上

II.加入者の健康度を高める

III.医療費等の適正化

## <基盤的保険者機能関係>

### 【現金給付の適正化の推進と効果的なレセプト点検の推進】

- 1 不正受給疑義案件に対する厳格な対応(現金給付、柔道整復施術療養費、あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費)
- 2 規程、マニュアルに沿った効率的な業務遂行

### 【増大傾向にある債権に対する回収促進】

- 1 退職後及び扶養解除後の受診が多い事業所や任意継続取消者への重点アプローチ
- 2 法的手続き、外部委託による電話催告等効果的な回収促進と支部内情報共有による組織対応

### 【サービス水準の向上】

- 1 サービススタンダード100%達成ほか、日常業務の進捗管理の徹底
- 2 限度額適用認定証の利用促進による加入者の利便性向上
- 3 「届書・申請書作成支援サービス」推進、定着及び郵送化率向上

#### [サービススタンダード]

保険給付の中で、「傷病手当金」「出産手当金」「出産育児一時金」「家族出産育児一時金」「埋葬料(費)」「家族埋葬料(費)」については、申請受付から口座振込までを10営業日と定めています。

#### [限度額適用認定証]

高額な医療費を支払った場合に、あとで自己負担限度額を超えた分について払い戻される「高額療養費制度」があります。しかし、高額な医療費の支払いは大きな負担になるために、「限度額適用認定証」を利用していただくと、窓口での支払いが自己負担限度額までで済みます。

## <戦略的保険者機能関係>

### 【加入者の健康度向上のための保健事業推進(データヘルス計画の着実な実行)】

#### 《健診》

- ① 生活習慣病予防健診(委託先及び受入枠拡大、新適事業所の着実な取込み、商議所等関係先との連携)
- ② 事業者健診データ(受診勧奨経費の効果的活用、継続的な労働局・運輸局との連携)
- ③ 特定健診(市町村連携による集団健診拡大、独自集団健診の効率的な運営)

#### 《特定保健指導》

- ① 被保険者(委託先による健診当日の初回面談推進、市町村勤務の被保険者の指導の自治体への委託推進、企業内保健師・看護師等への委託推進)
- ② 被扶養者(集団健診当日の初回面談の推進、自治体に対して「住民の健康増進」として委託推進)

#### 《重症化予防》

- ① 未受診者(スケジュールに沿った一次勧奨～三次勧奨)
- ② 糖尿病性腎症(薬剤師による指導拡大、国保との連携推進)

## <戦略的保険者機能関係>

【加入者の健康度向上のための保健事業及び医療費適正化推進(データヘルス計画の着実な実行)】

### 《コラボヘルス》

- ① 重点業種の「健康づくりチャレンジ宣言」事業所拡大
- ② 大規模事業所を軸とした健康保険委員カバー率向上
- ③ 宣言事業所に対するサポート体制強化
- ④ 「禁煙」対策事業の継続推進

### 《インセンティブ制度》

- ① 評価5指標の事業所への継続周知と大規模事業所への個別協力要請

### 《ジェネリック医薬品使用促進》

- ① 医療機関向け個別アプローチによる底上げ
- ② 子ども医療助成連動啓発の連携市町村拡大

### 《エビデンスに基づく地域医療への働きかけ》

- ① 本部提供ツールの活用による分析スキル向上
- ② 継続的な医療費分析による地域課題の共有と意見発信



### <戦略的保険者機能関係>

#### 《その他》

- 1 自治体、経済団体等との連携拡大による事業推進
- 2 効果的な広報活動の工夫とメディア対応強化

### <組織体制の強化>

#### 《役割等級に応じた業務遂行能力の発揮と常に学ぶ風土の定着》

- 1 標準人員による運用実現と戦略的保険者機能発揮のための効果的な人員配置

#### 《コンプライアンス、情報セキュリティ、個人情報保護等の遵守徹底》

- 1 支部独自の事務処理誤り「ゼロ月間」の設定及び自主点検による適切な事務処理体制の確立
- 2 必須研修の全員受講と確認テストを活用した遵守事項の徹底

#### 《コスト意識の醸成》

- 1 スケジュールに沿った業務運営と適切な調達管理
- 2 光熱費等経費及び人件費(時間管理)に対する職員の意識醸成